



大人から子どもまで明るく心豊かな  
おもいやりのあるまちづくりをめざして

小諸市議会議長  
相原久男

# 年頭にあたり

あけましておめでとござ  
います。

市民の皆様には、明るい希望に満ちた、平成28年の新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃、市議会の活動に対しましてご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年2月の市議会議員改選後に、議長の職に就き、初めての新年を迎えることになりました。市政発足以来の重要課題に臨み、「光陰矢の如し」を地でいくような毎日であった感じがいたします。就任以来、市政の発展と議会の円滑な運営に微力ではありましたが全力を注いでまいりました。この間市民の皆様には多大なるご支援、ご指導を賜り、公務に精励できましたことを、心より感謝申し上げます。昨年を振り返りますと、異常気象は留まるところを知らず、河川の氾濫や大型台風の上陸、厳しい残暑が続くなど、生活に多大な影響を与え、さ

らには、浅間山の小噴火による登山規制により観光客の入り込みにも影響が及びました。

小諸市におきましては、コンパクトシティの核となる新市庁舎・小諸プラザ・図書館が完成し業務を開始しました。また、小諸市単独のごみ焼却施設も12月25日に竣工式が行われ、新年より稼働しております。ここに至るまでには、議会においても、特別委員会や議員全員協議会などを開催し、小諸市の将来を左右する二件の重要課題について、慎重に協議を重ね丁寧に対応する中で、一定の方向を出してまいりました。今後、長野県厚生連が小諸厚生総合病院の再構築にかかり、平成29年末の開院予定としています。議会では引き続き、山積する課題に対し、市民の皆様への信頼と負託に応えられる議会の構築に向け、議会機能の充実と時代に即応した効率的でわかりやすい開かれた議会とするべく、努力してまいります。

存であります。

国においては地方創生と称して、それぞれの自治体が自らの判断と責任のもと、地域の実情にあった行政運営を進めるとした、地方分権・地域主権改革の流れが今日一層加速する中で、市民の負託を受けている行政と議会、その二元代表制における行政の監視機関として、議会の果たす役割と責任は、ますます重要なものとなってきています。強く感じております。

最後に、私たちのまちが、大人から子どもまで明るく心豊かで、笑顔の響きあう小諸となるよう議会として取り組んでまいります。これからも更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。今年一年のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。